

## 沖縄県・がん患者さんのための療養場所ガイド4 宮古島市編 掲載エリアマップ



## はじめに

本書は、主に沖縄県宮古島市にお住まいの方々のために、琉球大学医学部附属病院がんセンターが、関係者の協力を得て作成しました。

どなたでも、がんと告げられたときに、頭が真っ白になるような大きな衝撃を受けて、動揺するのは当然のことです。どこで診てもらったらよいのだろう、すぐに（沖縄）本島の病院や、東京の大きな病院に行かなくては、とってしまうかもしれません。

しかし、がん医療は大病院だけに行っているものではありません。多くのがん医療は、沖縄県立宮古病院（以下、宮古病院）や宮古島徳洲会病院（以下、徳洲会病院）で行えますし、宮古島市内の診療所で行えることもかなりあります。さらに、宮古病院、徳洲会病院および本島の医療機関と地元の診療所が連携することによって、より多くのがん医療を、宮古島市にお住まいのがん患者さんに提供できるようになっています。

そこで宮古島市にお住まいの方々に、

- (1) 宮古島市のがん医療の現状についての正確な情報
  - (2) お住まいの地域で、安心して質の高いがん医療が受けられること
- をお伝えすることを目指して、本書を刊行しました。

2011年に宮古医療圏（宮古島市、多良間村）で新たに診断されたがん（上皮内がんを含む）は363例（男性196例、女性167例）でした\*。このことから、宮古島市では毎年300名以上の方ががんと診断されていると推定されます。一生のうちに、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれるほど、がんはすべての人にとって身近な病気です。

本書が、宮古島市にお住まいのがん患者さんやそのご家族に少しでもお役に立てれば幸いです。

\*平成27年度沖縄県がん登録事業報告書